

関西学院大学に対する相互評価結果ならびに認証評価結果

全学的な視点

【評価項目】 1 1 教員組織

総 評

三 長所の伸張と問題点の改善に向けての取り組み

7 教員組織

各学部・研究科とも大学設置基準、大学院設置基準および専門職大学院設置基準を満たしており、総合大学として教育・研究を行っていくうえで、ほぼ適切な教員組織が整備されていると判断できる。

各学部の教員組織における専門分野および年齢構成バランスについては、おおむね適正である。しかし、言語コミュニケーション文化研究科における教員の専門分野バランスおよび、神学部、総合政策学部、および理工学部における教員の年齢構成バランスについては、注意を要する。

神学部、理工学部では、専任教員 1 人あたりの在籍学生数が少なく、きめ細かい教育が行われている。他方、社会学部社会福祉学科ではその数が多いので、この問題が解決される 2008（平成 20）年度の人間福祉学部開設時までの間、工夫が求められる。

各学部・研究科において、ティーチング・アシスタント（TA）やリサーチ・アシスタント（RA）などの教育・研究支援人員の配置を工夫し、安定的に機能している。法学部においてのみ、そういった人員があまり整備されておらず、教員には担当コマ数以上の授業負担がかかっている。この対応方策として、教学補佐がティーチング・アシスタント（TA）の役割を担うことについて協議が始まったところなので、その実現が望まれる。